

コード	103040401
記入日	H24.6.8

課コード	108
課名	まちづくり推進課
課長名	前田 芳朗
担当者	荒木 順一郎

# 事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 24 年度
------	----------

評価対象事業名称	地域公共交通活性化・再生総合事業
----------	------------------

事業種類	継続事業
事業期間	平成 22 年度 ~ 平成 25 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	1	政策名称	にぎわいを創る地域交流の促進	款コード	7
施策コード	103	施策名称	しさを支える交通基盤づくり	項コード	1
基本事業コード	10304	基本事業名称	海上交通の充実	目コード	1
事務事業コード	1030404	事務事業名称	地域公共交通の活性化及び再生事業費	細目コード	1205
関連計画	新上五島町地域公共交通総合連携計画		法令・条例規則等	地域公共交通の活性化及び再生に関する法律	

## 計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を\*\*\*\*\*とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標					
(対象1)	地域公共交通総合連携計画書	(対象指標1)	1冊				
(対象2)	連携計画実施事業	(対象指標2)	15事業 (H23から37年×5事業)				
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段：全体、下段：評価年度)					
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)	
・新上五島町交通ネットワーク協議会へ負担金を支出して、地域公共交通総合連携計画を策定し、次年度からの3年計画に基づいた事業を実施していく。	・新上五島町交通ネットワーク協議会へ負担金(729千円)を支出して、地域公共交通総合連携計画を策定し、次年度からの実施事業を調査し計画した。	連携計画事業数	5事業	33.0%	連携計画実施事業÷	平成25年度	
		連携計画事業数	5事業	100%	連携計画事業	平成23年度	
		① (達成率分析)	年間のネットワーク促進協議会の事業に対する補助金を支出し、計画どおり計画書を策定し、次年度以降実施事業に取り組む。				
		地域公共交通総合連携計画策定	1冊	100%	連携計画書策定数÷	平成22年度	
		地域公共交通総合連携計画策定	1冊	100%	連携計画書策定予定	平成22年度	
		② (達成率分析)	計画どおり計画書を策定し、次年度以降実施事業に取り組む。				
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率 (上段：全体、下段：評価年度)					
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)	
・公共交通の現状と問題点をアンケート調査を行いながら探り、計画書を策定し、今後のしまのにぎわい創りを支える公共交通サービスの提供を目指す。		連携計画事業数進捗率	33.0%	33.0%	連携計画実施事業÷	平成25年度	
		連携計画事業数	33.0%	100%	連携計画事業	平成23年度	
		① (達成率分析)	年間のネットワーク促進協議会の事業に対する補助金を支出し、計画通り計画書を策定し、次年度以降実施事業に取り組む。				
		② (達成率分析)					

## 実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		22年度以前	23年度		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 事業	15	5	0	5	5	5	5			
	② 冊	1	1	1	-	-	-	-			
成果指標	① 事業	100	33.0	0	33.0	33.0	33.0	34.0			
	②										
総事業費 C (A+B)	千円	22,749	7,649	1,429	6,220	6,220	5,000	10,100			
直接事業費 A	千円	19,949	6,249	729	5,520	5,520	4,300	9,400			
人件費 B	千円	2,800	1,400	700	700	700	700	700			
内訳	従事職員数	人	0.4	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1			
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円									
	県補助金	千円									
	起債	千円									
	その他	千円									
一般財源	千円	22,749	7,649	1,429	6,220	6,220	5,000	10,100			

**評価 ( CHECK )**

※理由の欄は必ず記載すること。

1 次 評 価	妥当性	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ない	理由	時代の情勢や環境の変化に応じて検討が必要である。
	有効性	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる いない	理由	住民の要望を反映した計画となっている。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	● ある ない	理由	計画事業を実施しながら検証を重ねて、計画の見直しをしていく。
	効率性	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる いない	理由	計画通りの成果である。
		・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。	代えられる ● 代えられない	理由	事業費及び人件費は適切である。

**改善 ( ACTION )**

1 次 評 価	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	計画に則った実施事業であり、現在のところ見直す必要はない。
	今後、課題に向けた改善策	実施事業と平行して、住民の意見を反映していく。

2 次 評 価	医療再編等や地域交通のニーズを把握し、公共交通が住民の利用しやすいものになるよう連携計画に沿って事業を実施すること。
------------------	--

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

今後の事業 の方向性	1次	2次	3次	
	●	●		このまま事業を継続
				事業内容を見直して事業を継続
				事業費を見直して事業を継続
	1次	2次	3次	
				類似事業と整理統合
				事業の休止
				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。